

産業構造審議会 保安分科会 電力安全小委員会（第11回）-議事要旨

日時：平成27年12月21日（月曜日）10時00分～12時00分

場所：経済産業省別館3階312会議室

出席者

横山委員長、浅見委員、石田委員、内田委員、海老塚委員、大河内委員、大山委員、熊田委員、坂入委員、勝呂委員、飛田委員、福長委員、藤富委員、古屋委員、宮島委員、八代委員（早田代理）、四元委員、米沢委員、若尾委員

議題

1. 太陽電池発電設備の安全確保のための取組強化について
2. PCB含有電気工作物の早期処理に係る方向性について
3. 電気さくの安全対策の徹底について
4. 電気保安のスマート化の進捗状況について

議事概要

1. 太陽電池発電設備の安全確保のための取組強化について

事務局から資料1に基づき説明、その後質疑。

規制見直しの検討の方向性につき了承。

その他、委員からの主な意見

- 適切に法令を遵守している事業者への参入規制とならないような制度とすべき。
- 保守管理・廃棄まで含めライフサイクル全体に事業者として責任を持つことが重要。
- 地盤・構造に関する基準を明確にすべき。
- 小規模設備は公衆に近いところに立地されており、しっかり捕捉・対策すべき。
- IoT技術の活用等も進めるべき。
- 作業安全にももっと配慮がなされるべき。

2. PCB含有電気工作物の早期処理に係る方向性について

事務局から資料2に基づき説明、その後質疑。

規制見直しの方針につき了承。

その他、委員からの主な意見

- 低濃度製品の抜油分析・取替えに係るインセンティブを検討すべき。

3. 電気さくの安全対策の徹底について

事務局から資料3に基づき説明、その後質疑。

規制見直しの方針につき了承。

その他、委員からの主な意見

- 山間部の家屋にはコンセント側に漏電遮断器が付いていない可能性もある。漏電遮断器内蔵型の電気さく用電源装置を推奨すべき。

4. 電気保安のスマート化の進捗状況について

事務局から資料4に基づき説明、その後質疑。

検討の方向性、規制見直しの方針につき了承。

その他、委員からの主な意見

- 行政の肥大化へとつながらないように、メリハリのある規制への見直しが重要。
- NITEでは電気用品の事故事例集をまとめる等の取組を進めている。マクロな傾向分析にとどまらず、事故の詳細分析をしっかりと行う必要。
- 主任技術者の不足も懸念され、電気保安人材の育成を適切に進める必要。

関連リンク

[産業構造審議会 保安分科会 電力安全小委員会の開催状況](#)

お問合せ先

商務流通保安グループ 電力安全課

電話：03-3501-1742

FAX：03-3580-8486

最終更新日：2015年12月28日